

## 本会議場等映像・音響設備改修委託 仕様書

### 1. 目的

本会議場、第１委員会室及び第２委員会室における老朽化した映像・音響設備をはじめとする各機器システム（以下、映像・音響システムという。）及び設備を更新し、映像・音響・録音・録画機能を一元管理し、会議運営の円滑化と安全性、長期運用を実現できることを目的とする。受注者は必要な機器及びソフトウェアの設置、構築に関する以下の内容を業務範囲とし、発注者と調整を行い、承諾を得た上で実施すること。なお、本仕様書に記載がない事項であっても、業務を遂行するために必要な事項は全て実施するとともに従事者に周知徹底し、業務遂行にあたること。なお、業務実施に際しての仕様の詳細や機器の設置場所等については、落札者決定後に、発注者と受注者の協議の上で、決定するものとする。

- (1) 機器及びソフトウェア等の調達及び指定場所への搬入。
- (2) 必要な配管及び配線作業。
- (3) 既存機器の撤去及び廃棄。
- (4) 導入機器設置及び初期設定、システム調整作業。
- (5) システム導入にあたっての操作研修及びサポート。
- (6) その他、発注者より依頼のあった関連業務。

### 2. 本仕様書について

本仕様書は必要最低限の機能的要件等を示しており、この要件を踏まえたシステム等の機能、施工を行うこと。また、本仕様書に記載がない事項であっても、本業務を遂行するために必要な事項は全て実施すること。新規に設置するシステム機器等は、「本会議場主要機器構成」、「第１委員会室主要機器構成」及び「第２委員会室主要機器構成」のとおりとするが、型番及び機器構成は参考であるため、同等以上の性能を有し、仕様書にある目的を達成できる機器構成であれば、同等品、同等機能による代替を妨げない。なお、納入する機器は特注品を除いて、契約時点における現行モデルの新品とし、旧型モデルや新古品の納入は認めない。

### 3. 履行期限

令和９年２月２８日まで。

#### 4. 履行場所

神奈川県相模原市中央区中央 2 丁目 1 1 番 1 5 号

相模原市役所本館 2 階 本会議場、第 1 委員会室、第 2 委員会室

#### 5. 基本要件

(1) 本会議場、第 1 委員会室及び第 2 委員会室の映像・音響設備の構築、機器等の調達、改修を行うこと。

(2) 映像・音響システム導入時は、操作研修及びサポートを実施すること。

(3) 本会議場、第 1 委員会室及び第 2 委員会室に導入する制御システムは、全て同一機種とするとともに、それ以外の機器や設備等については、極力共通化を図ること。

(4) 制御システムは、議会運営や議会中継に必要となる機能を有するとともに、カメラ・マイク・テロップなどを一元管理できるシステムであること。また、誤操作が生じにくい工夫が施されていること。制御システムは専門知識のない職員でも簡単に操作可能で、本会議場は 2 名以下の職員、第 1 委員会室及び第 2 委員会室は各 1 名の職員で、操作が完結できること。

(5) 制御システムを搭載する PC の OS は、前述の制御システムが支障なく運用できるスペックを有するとともに、必ずサポート期限内のものとする。また、OS のバージョンアップがあった際に、柔軟に対応できること。

(6) 既設機器（配管、配線を含む）のうち、発注者が認めたものについては、流用を可能とする。ただし、既存設備の機能及び性能に障害を与えないよう十分な相互運用性を確保すること。

(7) 機器等の選定にあたっては、十分な稼働実績や国内に在庫が確保されているなどの高い信頼性・安全性を有する製品を選定するとともに、それらを構成した状態でシステムとして不具合なく作動すること。また、故障などに迅速に対応できるものであることのほか、省電力、省スペース化、メンテナンスの容易性も考慮すること。

(8) 瞬停や停電により、録音・録画データの消失や、システムの停止等が発生しないよう、一定時間の電源を確保できる無停電電源装置を設置すること。

(9) 発注者ならびに、発注者からインターネット配信業務を受託している事業者と協議の上、映像・音声の問題なく配信されるよう調整し、納品・運転試験等を実施すること。なお、これらの費用も全て受注者の負担とする。

(インターネット配信業務受託事業者)

株式会社 会議録研究所

住所：東京都新宿区市谷砂土原町１－２－３４

連絡先：０３－３２６７－６０５１

（１０）作業にあたり、既設の他システムや設備に設定変更等が生じる場合には、当該システムや設備の事業者等に、機能（性能）・運用・安全性等の必要な情報を提供し、作業の実施について相手方の了解を得ること。また、既設の他システムや設備との接続等、運用に支障を来す可能性のある作業については、既設の他システムや設備の事業者等の立会いのもとに実施するなど、運用事故等の防止に努めること。

（１１）操作を必要としない機器類は、操作性を最大限に考慮し、必要な箇所に必要な機器収容部を設け、収容すること。

（１２）改修後の運用に必要な配線のルート、敷設方法などは、発注者と調整の上で進めること。また、配線は極力隠蔽し、やむを得ず露出配線となる場合は、発注者と協議の上で実施すること。

（１３）配線には、ラベルを貼り付けること。なお、機器接続等に要するケーブル、コネクタほか、資材等及び配線作業の費用も全て受注者の負担とする。

（１４）機器等の設置等にあたっては、転落・落下防止処理を施すなど安全を確保するとともに、盗難防止等の管理に万全を期すること。

（１５）本会議場の改修作業は令和７年１２月定例会議終了後から実施し、令和８年１月３１日までに完了すること。第１委員会室の改修作業は令和８年６月定例会議終了後から、第２委員会室の改修作業は令和８年９月定例会議終了後から実施し、それぞれ３０日以内に完了すること。ただし、現行システムや議会運営に支障をきたさない範囲の作業については、本会議場、第１委員会室及び第２委員会室のいずれにおいても、前述の期間より早期に実施しても構わない。また、臨時会議が開催される場合及び、定例会議の期間中で本会議場を使用しない日の作業については、別途発注者と協議するものとする。

（１６）作業時間は、原則として平日の午前８時３０分から午後５時までとし、これ以外の時間帯に実施する必要がある場合は、事前に発注者に連絡して、承認を得るものとする。

（１７）作業に際しては、関係法令を遵守し、安全確保、災害・公害防止、盗難防止等業務の管理に万全を期するとともに、データの漏洩、紛失、滅失等の予防に十分留意し、業務の信頼性、安全性の確保に努めること。各機器等の搬入等に当たっては、あらかじめ搬入経路等、現場の状況を十分に調査した上で行うこと。

(18) 本業務に関し責任者を置くこと。また、当該責任者は原則として契約締結から本格運用開始まで、同一人物とすること。

(19) 新たな機器及びシステムの導入等において発生する梱包材等や、改修により不要となる既設機器等については、発注者と協議の上、残置するもの以外の撤去、廃棄を受注者の負担で適正に行うこと。なお、産業廃棄物として処分するものについては、廃棄物管理票（マニフェスト）を適正に保管するものとし、その写しを発注者に提出するものとする。

## 6. 機器及びシステムの保守について

(1) 本会議場の契約不適合責任期間は、検査検収日から令和9年3月31日まで、第1委員会室及び第2委員会室の契約不適合責任期間は、検査検収日から令和10年3月31日までとする。

(2) 前項で定める期間内においては、通常の使用によりシステムや設備等が故障した場合の無償修理に応じること。また、システム機器の保守及び運用支援等を行うこと。

(3) 本会議場、第1委員会室及び第2委員会室の保守及び運用支援等には、システムの調整、点検、問い合わせ対応、故障・不具合対応、軽微な配線変更、ソフトウェアのバージョンアップの告知等を含めること。また市が指定する時期（おおむね年4回）に機器及びシステムの定期点検を行い、報告書を提出すること。

(4) 機器及びシステム等に故障・不具合が発生した際などに備え、保守連絡等の窓口を一元化するとともに、対応体制について発注者に提出すること。また、機器及びシステム等に故障・不具合が発生した場合には、迅速に現地確認及び応急措置を行うとともに、対応後は発注者に報告書を提出すること。

(5) 令和9年4月1日以降の本会議場と、令和10年4月1日以降の第1委員会室及び第2委員会室の保守点検については、原則として本契約を落札した相手方と別途随意契約するものとし、その場合、契約金額は総額で年額500万円以下とする。なお、保守範囲は本契約で構築した設備等とし、本契約履行後に追加した設備等に係る保守費用や、日本国内における賃金水準または物価水準に大幅な変動があった場合等により、上記金額の範囲内での保守が困難になった場合については、別途、発注者と協議するものとする。

## 7. マニュアルの作成・操作説明・立ち合い

- (1) 機器及びシステム等の運用マニュアルを作成し、データ、書面を提出すること。
- (2) システム運用開始前に、職員・理事者・議員等に対し操作説明などの研修を行うこと。
- (3) システム等改修後、発注者の指定した日においては、システム操作に精通した者が立ち会うなど、運用のサポートを行うこと。

## 8. 提出書類等

- (1) 受注者は、受注後に次の書類を作成し、提出すること。
  - ① 工程表
  - ② 本業務に関する責任者及び、作業の主要メンバーを記載した体制図
  - ③ 設計図書一式（システム系統図、配線図及び施工図等）及びデータを格納した発注者が指定する電磁的記録媒体
  - ④ その他発注者から指示のあった書類
- (2) 受注者は、業務完了時に、完成図書を2部提出すること。
  - ①完成図書の概要は次のとおり。なお、各項目の編成順序は問わない。
    - ・ 機器及びシステム等の操作マニュアル及び取り扱い説明書
    - ・ 運用支援・障害対応の担当者、連絡先等を記載した体制図
    - ・ 構築したシステムの説明書
    - ・ 導入品仕様一覧（機器のカatalog等を含む）
    - ・ システム構成図、ラックマウント図
    - ・ システム構築後の稼働試験結果報告
    - ・ 施工前後の写真
    - ・ 配線等が分かる図面
    - ・ 産業廃棄物処理に関する報告
    - ・ その他受注者が必要と判断したもの及び、発注者から提出指示のあったもの
  - ②納品方法については、電子データがあるものについては、PDF及びWord等で加工ができるファイル形式で発注者が指定する電磁的記録媒体に格納し、納品すること。ソフトウェアのライセンス証書等、紙媒体しかないものについては、原本の紙媒体及び原本をPDF化した電子データを納品すること。
  - ③本業務の履行に伴い発生する成果物等は、全て発注者に帰属するものとする。

## 9. 法令等の遵守

本業務の履行に当たっては個人情報及び業務によって知り得た情報の秘密を保持し、かつ目的外に使用しないこと。契約期間満了後又は契約解除後も同様とする。

## 10. その他

本仕様書に記載のない事項及び疑義が生じた場合は発注者と協議の上、決定する。

## 11. 本会議場の機能要件

(1) 本会議場の映像、音響、録音・録画、テロップ表示、発言時間及び会派残時間（以下、発言残時間という。）などの制御システムや、庁舎内共聴設備への変調器等を改修する。また、改修に併せて、制御システムに電子採決機能を加える。

(2) 音声認識表示システム及び難聴者向けの赤外線補聴関連機器については、原則として既設機器やシステムを流用する。

(3) 改修後のシステム構成や各ディスプレイへの表示などは、可能な限り現在の運用を踏襲するものとする。

(4) 現行の制御システムから送出している音声・映像を利用した、インターネット中継配信設備、庁舎内共聴設備、音声認識表示システム、難聴者向け赤外線補聴関連機器については、改修以後も連携させ、現行と同じ運用環境や拡張性を維持すること。

(5) 本会議場のスペース、備品（机等）などのほか、現場の施設状況を考慮し、各設備設置場所の改修は、極力最小限とし、施工後は原型に戻すこと。

## 12. 本会議場のシステム内容

### (1) 議席マイク設備

①有線方式の会議マイクシステムであること。

②議席マイク設備は既設と同様、原則として埋め込み型とするが、工期を優先に考えているため、卓上型でも可とする。ただし、省スペースに配慮し、議長席と演壇及び質問席については、埋め込み型を必須とすること。

③マイクの本数は議長席 2 本、演壇 2 本、質問席 2 本、議員席 5 2 本、議会局長席 1 本、理事者席 4 0 本とし、必要な数の会議マイクユニットを用意すること。

④既設の会議マイクユニットは撤去し、開口部の補修を行うこと。

⑤マイク部分は金属製かつ、メンテナンス性を考慮して、着脱可能であること。また、風防もしくは、雑音軽減のための機能を有すること。

⑥発言時は会議マイクユニットの発言ボタンや、マイク部のリングランプが点灯す

るなど、マイクのON／OFFの視認性が高いものにすること。

- ⑦起立して発言すること（議長席を除く）を前提として、適切かつ妥当なマイクの長さを選定すること。また、マイク部分は集音性を考慮して、根元と口元が曲がる2段フレキに対応していること。
- ⑧議長席を含め4本以上のマイクを同時にONの状態にできること。
- ⑨議長席の会議マイクユニットは、電子投票用に3択以上のボタンを有すること。
- ⑩演壇及び質問席の会議マイクユニットは発言ボタンを有すること。
- ⑪議員席の会議マイクユニットは、発言ボタンに加えて、電子投票用に3択以上のボタンを有すること。
- ⑫理事者席の会議マイクユニットは発言要求ボタンを有するとともに、押下した際にボタンが点灯するなど、発言要求のON／OFFの視認性が高いものにすること。また、発言要求ボタンがONの状態から、制御システムの操作により発言要求者のマイクをONにした場合には、発言要求ボタンをOFFに切り替えること。なお、誤って発言要求ボタンを押下してONにした状態から、発言要求ボタンを再度押下した場合についても、発言要求ボタンをOFFに切り替えること。
- ⑬各会議マイクユニットに、⑨～⑫以外のボタンが付属している場合には、それらをプレートで覆うなどして無効化させること。
- ⑭速記者席のモニターターミナルユニット2台を撤去し、イヤホン及び録音出力ボックスを1セット設置すること。
- ⑮議席マイク設備の音声は、後述の集音マイク設備とワイヤレスマイク設備の音声を重畳した上で、（４）拡声設備、（６）オンエア配信映像切替設備、（１２）録音設備、特別傍聴席の音声出力設備へ送出し、現行と同じ運用を確保すること。

## （２）集音マイク設備

- ①本会議場内の集音マイクは、既設機器を継続して利用する。

## （３）ワイヤレスマイク設備

- ①デジタル式のワイヤレスマイクを4本（ハンド型2本、タイピン型2本）用意し、充電器も必要数用意すること。
- ②ワイヤレスマイクに必要なアンテナを2台以上据付けすること。なお、既設アンテナが流用可能な場合は、この限りではない。
- ③それぞれの使用チャンネルを分けるなど、ワイヤレスマイクの混信を避ける工夫

を施すこと。

#### (4) 拡声設備

- ①本会議場内及び本庁舎内の拡声については、既設スピーカーを使用すること。
- ②上記スピーカー用のアンプを更新するとともに、音声のノイズ、ハウリング等が起きないように音質に十分配慮すること。

#### (5) カメラ設備

- ①既設カメラ（議長席等用 1 台、議員席用 1 台、議員席・質問席用 1 台、採決用 1 台、全景用 1 台）を撤去し、同位置に新たにカメラを設置すること。
- ②議長席等用、議員席用、議員席・質問席用のカメラについては、静音性の高いフルHDの回転型カメラとし、レンズは光学 20 倍以上のズーム機能を有すること。
- ③必要なズームを行っても、十分な撮影ができる解像度・画素数であること。

#### (6) オンエア配信映像切替設備

- ①全てのライブカメラ映像を、制御システムの操作により切替えることができること。
- ②ライブカメラ映像に議席マイク設備等からの音声を重畳させ出力できること。
- ③ピクチャーインピクチャーや画面分割などの画面表示機能を有し、制御システムの操作により、全てのライブカメラ映像、発言残時間、電子採決システムの映像、外部入力機能からの映像、音声認識表示システムによる字幕、ブルーレイ録画映像などを、自由に組み合わせ、また、個別に出力できること。（画面イメージ①参照）
- ④出力される信号は、議案・議員名・理事者名等のテロップを載せ、本会議場内表示設備、庁舎内共聴設備、インターネット中継配信設備、録画・録音設備、傍聴席の 43 型ディスプレイへ送信すること。

#### (7) 本会議場内表示設備

- ①理事者席後方壁面の 70 型ディスプレイ 2 台を撤去し、98 型以上のディスプレイを設置すること。なお、ディスプレイの重量は 50 kg 程度とし、専用金具により設置すること。また、設置にあたっては、壁面の強度に十分配慮し、必要に応じ補強すること。



- ②特別傍聴席の４７型ディスプレイ２台を撤去し、６５型以上のディスプレイを設置すること。なお、ディスプレイの重量は３０ｋｇ程度とし、専用金具により設置すること。
- ③議長席、議会局長席、演壇、質問席の発言残時間確認用小型ディスプレイ各１台と、議長席及び議会局長席の発言要求者確認用小型ディスプレイ各１台をそれぞれ撤去し、同位置に１０型程度の小型ディスプレイをそれぞれ設置すること。

#### (８) 外部入力機能

- ①発言者が提示する資料映像等を取り込むため、演壇、質問席、議事課長席横の操作席、録音室に、ＨＤＭＩの外部入力設備を設けること。

#### (９) 場内映像切替設備

- ①入力ソースと出力先を選択可能な場内映像切替設備を用意し、ライブカメラ映像、発言残時間管理機能や電子採決システム及び音声認識表示システムの映像、休憩・閉会時に表示する静止画、(８)外部入力機能からの映像等を、個別もしくは組み合わせて、制御システムの操作により(７)本会議場内表示設備の各ディスプレイへ表示できること。

#### (１０) 庁舎内共聴設備

- ①(６)オンエア配信映像切替設備からの映像音声を、地上デジタル波を用いて視聴している、第１委員会室、第２委員会室、第３委員会室、理事者控室、第２別館３階傍聴ロビー、各室のディスプレイ等に伝送すること。
- ②なお、庁舎内の既存設備と適合し、高品質で安定的に音声を伝送できる構成であれば、ＨＤＭＩなど他の伝送方法を用いても構わない。

#### (１１) インターネット中継配信設備

- ①(６)オンエア配信映像切替設備からの映像音声信号を、インターネット配信業務受託事業者のエンコーダーＰＣへ、ＨＤ－ＳＤＩ信号として伝送すること。
- ②なお、改修後においても、インターネット配信業務受託事業者と連携し、映像・音声の問題なく配信されることと、エンコーダーＰＣの内部ストレージに適切に録画・録音されることを確認すること。

#### (12) 録音設備

- ①デジタルレコーダーを2台設置し、議席マイク設備、集音マイク設備及びワイヤレスマイク設備の音声を、録音できること。
- ②制御システムの操作により、録音の開始・停止等の制御ができること。
- ③USBメモリとSDメモリーカードでの録音が可能なこと。
- ④32GBのSDカード及びUSBメモリを、それぞれ2個用意すること。

#### (13) 録画設備

- ①録画装置（容量：4.0TB以上）を1台設置し、制御システムの操作により制御できること。また、(6)オンエア配信映像切替設備からの映像(HD-SDI)をテロップ付きで録画できること。
- ②録画映像を確認、操作できるディスプレイを設置すること。

#### (14) 制御システム

##### (システム全般)

- ①制御システム用PC、21型程度のタッチパネルディスプレイ、キーボード、マウスをメインとサブの2セット用意し、設置すること。操作は液晶タッチパネル方式とし、不具合に備えてキーボード・マウスでも操作可能であること。
- ②タッチパネルディスプレイ上の座席ボタンを操作することにより、各席のマイクのON/OFFが制御できること。また、各席のマイクのON/OFFが、タッチパネルディスプレイ上で視覚的に確認しやすい工夫がなされていること。なお、座席ボタンは、本会議場の座席レイアウトに準じて作成すること。
- ③マイクのON/OFFの操作に連動して、カメラ操作とテロップ表示を連動させることができること。また、議長席のマイクについては、カメラ操作とテロップ表示の連動を切り離してON/OFFの操作ができること。
- ④制御システム内における、議員と理事者の氏名、会派名、役職、テロップなどのデータは、CSVファイル等でインポート、エクスポートできること。
- ⑤制御システム及び(7)本会議場内表示設備へ表示される映像は、原則としてカラーユニバーサルデザイン認証に準拠した色使いであること。

##### (カメラ制御)

- ①カメラは事前に、撮影する対象者ごとに最適なレンズの角度、方向、ズーム等を

プリセットすることができること。また、プリセット位置はカメラ 1 台あたり、100か所以上記憶できるものとする。

- ②プリセットされた指定位置の撮影のほか、手動で任意に操作ができるよう専用リモコンを用意し、操作席に設置すること。
- ③カメラプリセットは本会議場内の全席のほか、本会議場全景など使用頻度の高い設定（8パターン以上）を登録でき、ワンタッチで呼び出せること。
- ④タッチパネルとは別に映像確認ディスプレイを設置し、全てのカメラの映像とライブカメラ映像が確認できること。

#### （座席管理）

- ①座席レイアウトは12パターン以上の設定ができ、休憩中などに、制御システムを終了することなく、簡単に切り替えることができること。
- ②座席名称は、職員が簡単な作業で、登録や変更及び削除が可能であること。

#### （テロップ表示機能）

- ①テロップは予め登録したもののほか、リアルタイムでの入力、表示、消去などの制御機能を有すること。また、テロップの表示等はカメラ操作と連動させることができること。
- ②テロップは上段と下段に分けて登録・表示できること。また、どちらも2行以上表示でき、1行に20文字以上表示できること。
- ③テロップ機能に登録した文字内容は、随時、職員が簡単な作業で変更や追加が可能であること。文字は、JIS2004に準拠していること。

#### （発言要求機能）

- ①会議マイクユニットの発言要求ボタンのON/OFFと連動して、タッチパネルディスプレイ上の座席の色が変わるなど、発言要求者を確認しやすい仕組みを設けること。
- ②誤って発言要求ボタンを押下して発言要求をONにした場合には、制御システムの操作により発言要求をOFFにすること。
- ③タッチパネルディスプレイ上の演壇のマイクをONにした場合には、全ての発言要求をOFFに切り替えること。
- ④会議マイクユニットの発言要求ボタンのON/OFFと連動して、発言要求者確

認用小型ディスプレイに、押下した順に理事者名を表示すること。

⑤発言要求者確認用小型ディスプレイは、1行に20文字以上表示できること。

#### (発言残時間管理機能)

##### ①代表質問・個人質疑、一般質問に共通する仕様

- ・52名(最大席数)以上の議員名、会派名のデータを管理することができ、また、容易に作成・変更・削除できること。議員名、会派名のデータから代表質問・個人質疑及び一般質問の発言者リストを作成することができ、それに基づいて発言時間及び会派残時間の管理・表示ができること。なお、発言者リストも52人以上登録が可能なこと。
- ・時間は全て「00:00」の秒表示とする。
- ・発言時間は初期値を「00:00」とし、カウントアップ方式とする。
- ・会派残時間が「00:00」になった後は、マイナス表示(ー)とする。
- ・時間計測の開始、停止のほか、表示をOFFにできること。演壇、質問席、議員席のマイクと連動して、時間計測の開始、停止が行えること。
- ・発言残時間は、任意のプリセット時間と呼び出す方法のほか、タッチパネルやテンキーでの入力により、個別に設定や変更ができること。

##### ②代表質問・個人質疑の時間表示仕様

- ・会派残時間は、1人10分×会派の構成人数とし、カウントダウン方式とする。
- ・画面を左右に2分割し、左側にオンエア配信映像を、右側に発言時間を表示すること。(画面イメージ②参照)

##### ③一般質問の時間表示仕様

- ・会派残時間は、1人20分×会派の質問者数とし、カウントダウン方式とする。
- ・会派残時間は同一会派内で共有できること。
- ・会派名に無所属が入力された場合にはアラートが表示されるなど、無所属議員同士の会派残時間の共有を防ぐ仕組みがあること。
- ・画面を左右に2分割し、左側にオンエア配信映像を、右側上部に発言時間を、右側下部に会派残時間を表示する。(画面イメージ③参照)

##### ④その他の仕様

- ・複数日に渡って機能を使用するため、発言残時間に係る各データを翌日以降に引き継ぐ機能を有すること。
- ・時間計測中以外の任意のタイミングで、データを一時保存できる機能を持ち合わ

せていること。

- ・ 議員別の発言時間、会派別の発言残時間を管理し、CSVファイル等でエクスポートできること。
- ・ 表示画面の色、フォント、文字サイズ、文字色、代表質問・個人質疑及び一般質問の1人あたりの持ち時間等を変更できること。

#### (電子採決機能)

- ①議員席の投票ボタンで電子投票ができること。なお、議長の職務を行う議員が投票を締め切るまでは、何度でもやり直すことができること。
- ②議案に応じて、議長の職務を行う議員も議長席の投票ボタンで電子投票できるように設定できること。その場合の投票総数等については、議長の職務を行う議員を加えた数で表示すること。
- ③議長の職務を行う議員が投票に参加していない状況での投票結果が、賛成と反対が同数となった場合には、議長席の投票ボタンでも電子投票ができるようにすること。
- ④投票を終えていない議員がいても、投票を締め切ることができること。
- ⑤議長の職務を行う議員を除き、投票を締め切った時点で投票していない議員の票については、賛成・反対・白票・棄権など事前に設定した項目の中から、振り分け先を自由に設定できること。
- ⑥電子投票の画面には、議案名、本会議場のレイアウトに準じた座席、賛成・反対・白票・棄権・総数などを表示できること。また、表示する項目については、変更できること。
- ⑦本会議場のレイアウトに準じた座席については、可能な限り大きく表示すること。
- ⑧議案名については、職員の簡単な作業で、入力や変更が随時可能であること。
- ⑨制御システムの操作により、議長の職務を行う議員を変更できること。
- ⑩投票結果は、集計数だけの表示と、個別の議員の結果を1画面で表示する、2パターンを用意すること。
- ⑪議案ごとに各議員の投票結果を記録しておき、CSV形式等でエクスポートできること。

#### (録音・録画機能)

- ①制御システム上の開会・休憩・再開・閉会の各操作と、録音・録画機器を連動さ

せ、録音・録画の開始・一時停止・再開・停止ができること。また、連動させない設定にもできること。

- ②録音・録画可能な残時間を表示するとともに、記録媒体の残量が少なくなった場合には、アラートすること。

#### (休憩中等コンテンツ)

- ①休憩・閉会选择した場合には、自動的に全てのマイクをOFFするなど、本会議場マイクの音声を送出しない仕組みを設けること。
- ②休憩・閉会选择した場合には、ライブカメラ映像の代わりに、事前に登録した任意の映像を送出する機能を有すること。
- ③休憩中等の状態においても、テロップ等の表示により、再開時間などの事項を告知する機能を有すること。
- ④再開時には、制御システムの操作により、ライブカメラ映像とマイク音声が出送されるようにすること。
- ⑤休憩・閉会选择した場合には、誤操作防止のため確認メッセージを表示すること。また表示しない設定にもできること。

#### (その他)

- ①主電源ユニットを設置し、制御システム及び映像・音響設備等の電源管理を一括できるようにすること。
- ②制御システムの操作により、開会のアナウンスや開会ブザーの鳴動が可能なこと。また、開会のアナウンスの内容や、開会ブザーの鳴動時間（秒）は変更ができること。
- ③出席議員数を入力ならびに修正できること。また、出席議員数を議長席ならびに議会議長席に表示できること。
- ④本会議場入口に会議表示灯を設置すること。会議表示灯は制御システムの操作により、点灯や消灯ができること。
- ⑤議会議長席に事務局呼び出しスイッチを設置すること。また、議事課長席に当該スイッチのON／OFFが確認できる設備を設けること。
- ⑥マイク点検機能の他にシステム点検機能を有し、ログを出力できること。

#### (15) 音声認識表示システム

- ①音声認識表示システムについては、改修により不要となる機器等は撤去し、必要となる機器等は追加するなどして、改修以後も現在と同様の運用ができるように調整すること。なお、現行の音声認識表示システムの構成機器等については、以下のとおり。

音声認識表示システム				
	オーディオインターフェース	R u b i x 2 2	1	
	音声認識用 P C	E S P R I M O D 7 0 1 1 / H	1	
	音声認識表示ソフトウェア	T Z - T R A C E R	1	
	H D スイッチャー	V - 1 H D +	1	
	H D M I 分配器	C R O - U D 1 4	1	
	H D M I セレクター	D V S - 4 1	1	
	A V 分配器	D A - 1 4 4	3	
	ANALOG to HDMI/SDI コンバーター	V P C - M X 1	1	
	SDI/HDMI to ANALOG コンバーター	V P C - D X 1	1	
	A V スイッチャー	S W - 4 1	2	
	音声認識 P C 用ディスプレイ	2 2 2 S 1 A E / 1 1	1	
	H D M I 信号同軸延長器・送信器	C R O - H 2 6 T	1	
	H D M I 信号同軸延長器・受信器	C R O - H 2 6 R	1	
	4 3 型ディスプレイ	L C D - E 4 3 8	1	
	無停電電源装置	B N 5 0 T	1	

- ②傍聴席に既設の43型ディスプレイ等と同等の設備を、傍聴席から議長席に向かって右奥にも追加設置し、傍聴席両側で音声を文字化した文章が表示できる環境を構築する。
- ③（6）オンエア配信映像切替設備からの映像音声信号を、音声認識表示システム P C へ H D M I 信号として伝送し、音声を文字化した文章を生成すること。
- ④音声を文字化した文章とライブカメラ映像を合成して、ライブ字幕映像として出力ができること。

本会議場主要機器構成

	機器	型番	数量	式
議席マイク設備				
	ターミナルユニット	P M-T 5 1	9 9	台
	グースネックマイク（ロング）	P M-T A 5 L	9 9	台
	補修プレート		必要数	式
	コントロールユニット	P M-M 5 5 0	1	台
ワイヤレスマイク設備				
	ワイヤレスマイク	W M S P 1 0 7 0 J	4	本
	デジタルワイヤレスチューナー	W T-1 0 1 4 D	1	台
拡声設備				
	デジタルパワーアンプ	P S-A 1 5 0 4 D	1	台
	システムアンプ	P A-9 0 8	1	台
	マルチプロセッサ	D r i v e R a c k 2 6 0	1	台
	音声分配器	L A 1 2	1	式
	ジャンクションボックス	P M-X 5 0	必要数	台
	操作架		1	式
カメラ設備				
	4 K インテグレートッドカメラ	A W-U E 5 0 W / K	5	台
	リモートカメラコントローラー	A W-R P 6 0 G J	1	式
オンエア配信映像切替設備				
	H D カメラスイッチャー	X S-6 2 S	1	台
	タイトルジェネレータ	S T G-1 0 1	1	台
本会議場内表示設備				
	場内表示ディスプレイ（98型）	P N-M E 9 8 2	2	台
	場内表示ディスプレイ（65型）	P N-M 6 5 2	2	台
	議長席等小型ディスプレイ（10型）	L C D 1 0 1 7	6	台
場内映像切替設備				



	マトリックススイッチャー	F D X - S 0 8 U	1	台
庁舎内TVへの送出設備				
	H D エンコーダー内蔵 O F D M 変調器	H D E C 7 M D 2	1	台
録音・録画設備				
	S D レコーダー	S S - R 2 5 0 N	1	台
	S D カード ( 3 2 G B )		2	個
	U S B メモリ ( 3 2 G B )		2	個
	B D / H D D レコーダー	D M R - T 5 0 0 0 U R	1	台
マイク及びカメラの制御システム				
	マイク・カメラ制御用 P C		1	台
	タッチパネルディスプレイ	F D F 2 1 2 1 W T - G Y	2	台
	制御ソフトウェア	T Z - P M 5 0 0 3 V C	1	式
	操作席映像確認ディスプレイ	L C D - D F 2 2 1 E D B - A	1	台

画面イメージ①

令和〇年〇月定例会

第〇日目一般質問



〇〇 〇〇 議員（△△党）

発言時間

29 : 36

会派残時間

60 : 22

次に、市内経済の振興について伺います。

初めに、物価高騰への支援についてですが、…

画面イメージ②



〇〇 〇〇 議員（△△党）

発言 時間

29 : 36

画面イメージ③



〇〇 〇〇 議員（△△党）

発言 時間

19 : 46

会派残時間

60 : 22

## 14. 委員会室のシステム仕様

### (システムの基本要件)

- (1) 第1委員会室及び第2委員会室に、それぞれの機器を設置するものとする。
- (2) 会議を円滑に運営するために、発言者以外の者が明瞭に発言を聴き取ることができるよう発言者の音声を適正に拡声する機能を有すること。
- (3) 会議録作成のために必要な音声を長時間、高品質で録音できる機能を有すること。
- (4) 会議を中継するために必要な会議映像を高画質で撮影でき、映像及び音声を録画できる機能を有すること。
- (5) 会議の映像及び音声をインターネット中継や庁舎内共聴設備等へ配信する機能を有すること。
- (6) 撮影した映像にテロップを表示させるなど編集する機能を有すること。
- (7) 会議の開会・閉会に伴い、会議表示灯を点灯・消灯できる機能を有すること。
- (8) システムの起動で関連機器の電源が簡単な操作で立ちあがること。

### (制御システム関連)

- (1) 制御システムはシンプルな操作性とし、カメラ、マイク、テロップの操作等がボタン1つで連動し、制御できる集中制御・管理可能なシステムとすること。
- (2) 事務局操作席に制御システム用PC、21型程度のタッチパネルディスプレイ、キーボード、マウスを設置すること。操作は液晶タッチパネル方式とし、不具合に備えてキーボード・マウスでも操作可能であること。なお、制御システムPCは二重化することとし、メイン制御システムPCが不具合で停止した場合においても、サブ制御システムPCを起動することにより、復旧できること。
- (3) 操作に必要な機器は、原則として事務局操作席に設置することとし、操作に不要な機器は機器架に設置すること。
- (4) 議員・理事者席等の会議マイクユニット音量は、タッチパネルによる音量調整が可能であり、干渉などの対策を考慮する必要がある。これについては、上下限値の割り付けを簡単な操作で行えらるとともに、発言者テロップ及び発言者席毎に割り当てられたマイク音量については自動的に引き継がれること。
- (5) マイク音量設定、マイクのみON/OFF、テロップのみON/OFFが行えること。
- (6) テロップ機能は、議員又は委員氏名及び役職名、特別職氏名及び役職名等の登

録が可能であること。また可能な限り文字数の制限を緩和すること。

(7) テロップ機能で事前登録した内容は、簡単な操作で変更や追加が可能であること。かな、漢字、英字等に対応していること。また、外字でも作成し、表示できるものとし、運用開始後も対応できること。

(8) 座席レイアウト（委員長席、事務局席、委員席、理事者席）を表示したボタンを操作することで、マイク、カメラが連動し、委員名などテロップ表示が行えること。

(9) タッチパネルから発言者のマイクのスイッチ操作を可能とすること。また、同時に発言可能な会議マイクユニットは4本以上設定可能であること。

(10) 委員長席は常に発言可能な状態を維持できるものとし、その他の席においても設定により変更が可能であること。

(11) 各席以外に委員会室全景など複数のカメラポジションの登録ができること。登録したポジションは操作により瞬時に切替可能であること。

(12) 会議操作中にカメラプリセット登録の編集（上書き更新）が可能なこと。

(13) 記録媒体の容量不足により、途中で録音ができなくなる事態を避けるために残時間など表示が可能であること。

(14) カメラのパン、チルト、ズーム等の操作及びプリセットの呼び出し、更新がタッチパネル上のみで可能であること。また発言中でもカメラ表示位置の調整、プリセットの更新がタッチパネル上のみで可能であること。

(15) 複数台のカメラ映像と放映中の映像が、タッチパネルで常時同時に確認できること。

#### **（マイク関連）**

(1) 有線方式の卓上型会議マイクシステムとすること。

(2) 4本以上のマイクを同時に使用できること。

(3) 会議マイクユニットは、発言ボタンを有することとし、それ以外のボタンが付属している場合には、それらをプレートで覆うなどして無効化させること。

(4) マイクの本数は、第1委員会室71本、第2委員会室61本で、内訳は下記のとおりとする。また、マイクの本数に応じた、必要な数の会議マイクユニットを用意すること。

#### **【第1委員会室】**

ロングマイク仕様51台、標準マイク仕様20台

#### **【第2委員会室】**

ロングマイク仕様51台、標準マイク仕様10台

(5) 各席には起立発言時でも確実な集音を可能とするためグースネックマイクを設置すること。また、マイクには風防もしくは、雑音軽減のための機能を有すること。

(6) マイクは発言者に合わせた微調整が可能な可動箇所を設け、稼働状態が判るよう発言可能時はマイクヘッドが点灯すること。

(7) マイク部は起立でも着座でも発言音声は明確に拾える、適切かつ安全な長さであること。また標準サイズとロングサイズの2種類あるマイクとし、発言者ごとに適切な高さとなるように事前に変更して利用できること。また、マイク部はメンテナンス性を考慮して、脱着可能とすること。

(8) 音質は標準に適したものとし、音声のノイズやハウリング等が起きないように十分配慮すること。

(9) 事務局操作席の制御システムからマイクのON/OFFが操作できること。また視覚的にマイクのON/OFFを確認できること。

(10) 室内の拡声は、会議マイクユニットのスピーカー及び委員会室内のシーリングスピーカーによる拡声が行えること。

(11) 入出力音声レベル調整及びハウリング対策等音響調整機能を有していること。

(12) 各席に設定されているマイク音量を表示する機能があり、音量調整ができること。

(13) 個別マイク音量は一括設定できる機能があること。

(14) 各席に設置する会議マイクユニットのアドレスを設定できる機能があること。

(15) デジタルミキサー操作画面を表示し、各装置の音量が設定できること。

(16) マイク操作器の設定画面で、会議マイクユニットのアドレスを設定することで制御するマイクを登録でき、自動的に座席ボタンに設定されている名称が表示されること。また全マイクをOFFにする設定もできること。

(17) 基本的にマイク操作は発言者が行うが、会議マイクシステム単独で運用(手動マイク操作)が可能であること。

(18) 会議マイクユニットの故障や式典時等のため、ワイヤレスハンドマイクを各委員会室に4本ずつ用意すること。

(19) ワイヤレスマイクに必要なアンテナを据付けし、充電器も必要数用意すること。

(20) 会議マイクユニット等の音声は、拡声設備、録音設備、録画設備、庁舎内共聴設備、第1委員会室、第2委員会室、第3委員会室、理事者控室、第2別館3階傍聴

ロビー、議会局事務室へ送信すること。

(21) 大きい声は極力ハウリングしないように音量を抑える機能を有すること。

(22) 会議マイクユニット等の音声、制御を点検するための自動点検機能を有すること。

(23) 委員会室の天井に集音マイクを２台設置し、不規則発言の集音や会議マイクのバックアップ集音を行うこと。

#### **(拡声設備)**

(1) 第１委員会室、第２委員会室、第３委員会室、理事者控室、第２別館３階傍聴ロビーのシーリングスピーカーは既設のものを使用すること。

#### **(カメラ関連)**

(1) 第１委員会室の既設カメラ４台を第２委員会室に移設し、第１委員会室にカメラ４台を新規設置すること。なお、新規設置するカメラが既設カメラと同機種の場合には、第１委員会室から第２委員会室への移設は行わず、第２委員会室にカメラを新規設置すること。また、互換性等により移設困難な場合には、発注者と協議すること。

(2) テロップ挿入前のカメラの映像、最終出力（オンエア）映像をタッチパネル上部に表示すること。

(3) カメラのパン、チルト、ズームの操作は、タッチパネル上部内に表示された各カメラ映像をタッチすることで容易に可能であること。

(4) カメラの移動速度を運用中に設定できること。なお、カメラ移動速度の上限値の設定変更も可能であること。

(5) 各カメラの映像表示周辺にカメラ名が表示された「(例) カメラ切替ボタン」を表示し、このボタンをタッチすることでカメラの切り替えが可能なこと。また表示されたカメラ名が分かりやすいよう、「(例) カメラ切替ボタン」の色を変えて表示させること。(例：アクティブカメラは赤、非アクティブカメラは青等)

(6) カメラプリセットは制御システムの準備画面に戻ることなく画面上のボタンを押すことで、運用中も簡単に座席レイアウトを表示した座席ボタンに登録・更新できること。

(7) オンエア中のカメラ以外の非アクティブなカメラもプリセット位置へ移動が行える機能を有すること。

(8) 制御システム側でのカメラのプリセット数は１台あたり１００か所以上記憶で

きるものとする。

(9) 照明などの高周波数の影響でノイズが発生する場合にフリッカー補正する機能を有すること。またこの機能を使用しない設定が可能であること。

(10) オートフォーカス機能を使用しない設定が可能であること。

(11) カメラ映像をタッチパネル上から手動でON/OFFできること。

(12) 運用中、カメラキャプチャーボタンを押すことで、最終出力(オンエア)映像、テロップ挿入前の各カメラのプレビュー映像を、制御用PCの内部に静止画として保存することができる機能を有すること。

(13) 1つ目の映像を左側に、2つ目の映像を右側に合成表示できる対面モード(左右分割表示)機能があること。

(14) 1つ目の映像の中に2つ目の映像を小さく合成表示できるピクチャーインピクチャーモード(ワイプ表示)の機能を有すること。

(15) 対面モード、ピクチャーインピクチャーモードのボタンを設置し、タッチパネル操作で簡単に設定、変更ができること。

(16) ピクチャーインピクチャーモードの子画面の位置は右上、右下、左上、左下に設定でき、水平・垂直のスライドバー等により位置の微調整が可能であること。

(17) 起動時、開会時、閉会時の配信映像を設定できること。設定できる映像はカメラプリセットボタンに設定した任意のカメラプリセット(委員長、委員会室全景等)または休憩中コンテンツから選定できること。

(18) カメラ映像に委員名などのテロップを載せる、録画設備で録画ができ、配信機器(インターネット中継、庁舎内共聴設備)へ送出できること。

(19) 配信に対してカメラ映像音声の送出/停止が一括操作できること。

#### **(室内表示設備)**

(1) 室内に3,820×2,160ドット以上の解像度を有する55型の液晶ディスプレイ1台を設置すること。なお、設置方法については、第1委員会室は天井吊り下げ、第2委員会室は壁掛けとする。

(2) 室内に1,920×1,080ドット以上の解像度を有する32型の液晶ディスプレイ1台を天井吊下げ設置すること。

(3) 液晶ディスプレイ等の設置にあたっては、天井や壁面の強度を十分に考慮し、必要に応じて補強をすること。

(4) 委員長席に設置してある既設ディスプレイは原則流用とする。なお、システム構

成等により、流用が困難な場合には、発注者と協議すること。

(5) 55型の液晶ディスプレイ及び32型の液晶ディスプレイは、事務局操作席からの操作、機器リモコンにより、カメラ映像やPC映像などを表示できること。

(6) 発言者が提示する資料映像等を室内のディスプレイへ表示するため、各委員会室の前方2か所に、HDMIの外部入力設備を設けること。

(7) 制御システムからの簡単な操作で、カメラ映像、休憩中コンテンツ映像、WEB会議画面、字幕表示画面、終了後コンテンツ映像、各委員会室映像等を、個別または組み合わせて外部ディスプレイに表示できること。また自由に文字を入れ、インフォメーションとして表示も可能なこと。

(8) 文字の表示場所について、発注者の要求に応じて、柔軟にカスタマイズに応じられること。

#### **(座席レイアウト、テロップ関連)**

(1) タッチパネル画面は委員会室の座席レイアウトに準じて作成すること。

(2) 座席レイアウトは12パターン以上の設定ができ、休憩中などに、制御システムを終了することなく、簡単に切り替えることができること。

(3) あらかじめ用意していた座席ボタンのテロップの変更が生じた場合、職員が簡単な作業で、すぐにテロップを作成・追加できること。

(4) 名簿リストに登録したテロップを座席ボタンに割当てする操作は、運用画面上で運用中でも簡単に行えること。

(5) 座席ボタンを選択すると、選択した座席に割当てられたテロップ10以上がリスト表示されること。リストから選択したテロップを表示させることが可能であること。またリストを編集・更新することで、名簿リストも同時に更新される機能とすること。

(6) 表示するテロップの文字フォントは運用PCに登録されたフォントの中より選択でき、新たにPCにフォントを追加した場合にも問題なくそのフォントも選択できるようにすること。

(7) JIS2004に準拠する文字(旧字・外字)が表記可能であること。

(8) どのような旧字・外字でも作成し、表示できる機能を有すること。

(9) どのような旧字・外字でも設計者が作成する費用を含むこと。

(10) 制御システム上で表示できる文字はテロップ表示できること。

(11) テロップは任意の文字を登録、若しくはその場で容易に入力することが可能で



あること。

(12) テロップは上段 2 行と下段 2 行に分けて、登録・表示が出来ること。また、1 行に 20 文字以上表示できること。

(13) スクロール表示速度を調整できること。

(14) テキストエリアに表示されているテロップを下段に表示するボタンがあること。

(15) テキストエリアに表示されているテロップを下段にスクロール表示するボタンを有すること。

(16) テキストエリアに表示されているテロップを上段に表示するボタンがあること。

(17) 上段テロップを消去するボタンを有すること。

(18) 事前登録しておいた文字を順番に表示するテロップリスト機能があること。

(19) テロップリストに登録した文字内容は、随時、職員が容易に変更や追加ができること。

「(例) 選択中 No. 表示」ボタンを押すことで、登録されたテロップが表示される機能があること。

「(例) 次の No. 表示」ボタンを押すことで、一行に登録されたテロップが表示される機能があること。

(20) テロップリストは CSV ファイルでリストファイルの読込、ファイル出力ができること。

(21) テロップの作成は、職員が容易に行えるものとする。また、会議中においてテロップが必要となった際に作成したものを表示可能とすること。テロップは、会議の状況（委員会名など）、委員名など画面上に複数のテロップ表示に対応できるものとする。

(22) 運用に合わせたテロップパターンを複数設定できること。

(23) テロップの他、静止画像を会議の放送中に切り替えて表示することができるものとする。

#### **(マイク・カメラ・テロップ連携操作機能)**

(1) タッチパネルディスプレイ上の座席ボタンを操作することで、マイクの切り替え、カメラのプリセット位置への移動、登録しておいた発言者名等のテロップ表示が連動して行われること。

(2) 運用中、会議進行中においては、発言者選択時に、選択中の状態であることが分かるようにボタンの色が変わり操作者が簡単に状態を把握できる仕組みとすること。

(3) 発言者選択枠内のボタンをタッチすることで、マイクON／OFFが可能なこと。

#### **(録音)**

(1) デジタルレコーダーを設置し、会議マイクユニット及びワイヤレスマイク設備の音声を録音できること。また、速記者の作業用として、3.5mmステレオミニジャックで音声を出力できること。

(2) 制御システムの操作により、録音の開始・停止等の制御ができること。

(3) USBメモリとSDメモリーカードでの録音が可能なこと。

(4) 32GBのSDカード及びUSBメモリを、それぞれ2個用意すること。

#### **(録画)**

(1) 録画装置を1台設置し、制御システムによる制御ができること。また、オンエア配信映像切替設備からの映像(HD-SDI)をテロップ付きで録画できること。

#### **(システム情報バックアップ)**

(1) 制御システム終了時に、システムに登録・変更された情報を制御システムPC内にバックアップ保存できること。また、任意の時点の情報を別名保存し、SDカード等のハードウェアにバックアップ保存できること。

#### **(映像・音声入出力設定)**

(1) カメラ映像、休憩中コンテンツ映像、WEB会議画面、字幕表示画面、終了後コンテンツ映像、第1委員会室映像、第2委員会室映像を、簡単な操作で選択または組み合わせ、本会議場内表示設備、庁舎内共聴設備、インターネット中継配信設備、録画・録音設備等へ送信できること。また、これら入出力映像を一括で設定できるようにパターン化して登録、呼び出し可能であること。

#### **(インターネット中継配信設備)**

(1) 映像音声信号を、インターネット配信業務受託事業者のエンコーダーPCへ、HD-SDI信号として伝送すること。

(2) なお、改修後においても、インターネット配信業務受託事業者と連携し、映像・音声の問題なく配信されることと、エンコーダーPCの内部ストレージに適切に録

画・録音されることを確認すること。

#### **(WEB会議関係)**

(1) 第1委員会室及び第2委員会室の既存の委員会室WEB会議機器は、原則流用とする。なお、システムの構造上、調整が必要な場合には、発注者と協議すること。

(2) 庁舎内共聴設備やインターネット配信で送出されているカメラ映像（テロップ付き）とマイク音声を事務局が用意するWEB会議用PCに取り込み、配信することを可能とすること。

(3) WEB会議用PCの音声について、委員会室内のシーリングスピーカーと会議マイクユニットのスピーカーからの拡声を可能とすること。

(4) WEB会議用PCの映像は、委員会室内に設置する液晶ディスプレイでの放映を可能とすること。

#### **(庁舎内共聴設備)**

(1) 映像音声を、地上デジタル波を用いて視聴している、第1委員会室、第2委員会室、第3委員会室、理事者控室、第2別館3階傍聴ロビー、各室のディスプレイ等に伝送すること。

(2) なお、庁舎内の既存設備と適合し、高品質で安定的に音声を伝送できる構成であれば、HDMIなど他の伝送方法を用いても構わない。

#### **(その他)**

(1) 起動時、周辺機器との接続テストを自動で行い、接続できない場合はメッセージ画面と接続できない機器名を表示すること。

(2) 保守契約期間中においては会議運営の変更などに伴い、本番運用後発注者の意向に沿った制御システムの修正を速やかに行うこと。

第 1 委員会室主要機器構成

	品名	品番	数量
1	《機器収納架》		
	画面分割ユニット	HDL-MULTIP6G/04	1
	ビデオスイッチャー	XS-62S	1
	制御 PC (ソフト込み)		1
	ビデオ・コンバーター (SDI to HDMI)	VC-1-SH	4
	SDI 分配器	CRO-DVD8B	1
	SDI スwitchャー	ISA-44	1
	エミュレーター	DM-C3	1
	ワイヤレス受信機 (4ch)	WX-SR204A	1
	拡張ユニット	ATLK-EXT165	3
	コントロールユニット	ATUC-IRCU	1
	マトリクスプロセッサ	MTX5-D	1
	音声分配器	DA6	1
	ハイパワーアンプ	WA-HA061	2
	シームレススイッチャー	SL-104C	1
	FA-ML8TPoE+	PN230893B5	1
	HUB (24 ポート)	BS-GS2024	1
	LAN/接点変換コンバータ	SE10-8A7B1	1
	リモートコントロール用 PC		1
	無線ルーター	BT0176-01512	1
	タイムサーバー	TSV-5000H	1
	無停電電源装置 1000VA	BU100RWG5	1
	無停電電源装置 750VA	BU75RWG5	1
	電源制御ユニット	WU-LP067	2
	端子盤ユニット	特型	2
2	《操作卓》		
	21.5 型タッチディスプレイ	ET2202L-2UWA-0-BL-G	1
	デジタルレコーダー	SS-R250N	2
	デジタル入力レコーダー	DMR-T5000UR	1
	SD カード (32GB)		2
	USB メモリ (32GB)		2
	15.6 型ディスプレイ	LCD1560	1

	PoEHUB	PN230893B5	1
	カメラコントローラ	AW-RP60GJ	1
	小型 15W AC 電源	AC-M15	1
	無停電電源装置	SCL400RMJ1U	1
	電源制御ユニット	WU-LP067	1
	操作卓	特型	1
<b>3</b>	<b>《委員会室内機器》</b>		
	4K インテグレートッドカメラ	AW-UE50W/K	4
	55 型液晶ディスプレイ	TH-55EQ2J	1
	FPD 壁面ハンガー	FHW-52	1
	HDMI 受信器	DCE-U1RX	1
	32 型液晶ディスプレイ	LCD-E328	1
	FPD 壁面ハンガー	FHW-43N	1
	HDMI 受信器	DCE-U1RX	1
	10.1 型液晶ディスプレイ	LCD1015	1
	HDMI 受信器	DCE-U1RX	1
	会議表示灯	特型	1
	マイクエレメント	AT4051b-EL	2
	専用プリアンプ	AT4900b-48	2
	ショックマウント	AT8410A	2
	取付金具		2
	ワイヤレスアンテナ	WX-SA250A	2
	ワイヤレスマイク ハンド	WX-ST200	4
	充電器	WX-SZ200	2
	充電電池	BK-3MCD/4H	1
<b>4</b>	<b>《委員会室マイク関連》</b>		
	専用ロングマイク	ATUC-M59H	51
	専用標準マイク	ATUC-M44H	20
	会議マイクユニット	ATUC-50DUa	71
	速記者用音声機器	特製	1
<b>5</b>	<b>《委員会室 WEB 会議機器関連》</b>		
	SD/HD/3G-SDI to HDMI 変換器	SHC-D5	1
	映像分配器	DA-144	1
	AD コンバーター	ADV-01	1

	USB キャプチャー	4KX-PLUS	1
	デジタルミキサー	ATDM-0604 a	1
	電源制御器	WU-L61	1
	55 型液晶ディスプレイ	LCD-M4K552XDB2	1
	ディスプレイスタンド	PH-625B	1
	USB3.0 ケーブル (3m)	USB3-AB30BK/ID	1
	HDMI ケーブル (5m)	HDM05AE	1
	AV ワゴン本体	CS-11UW1-N06	1
	ラックマウント金具	MK-100	1
	ラックマウント金具	RM-44S	1
	ラックマウント棚	SRE44-315A	1

第2委員会室主要機器構成

	品名	品番	数量
1	《機器収納架》		
	画面分割ユニット	HDL-MULTIP6G/04	1
	ビデオスイッチャー	XS-62S	1
	制御 PC (ソフト込み)		1
	ビデオ・コンバーター (SDI to HDMI)	VC-1-SH	4
	SDI 分配器	CRO-DVD8B	1
	SDI スwitchャー	ISA-44	1
	エミュレーター	DM-C3	1
	ワイヤレス受信機 (4ch)	WX-SR204A	1
	拡張ユニット	ATLK-EXT165	3
	コントロールユニット	ATUC-IRCU	1
	マトリクスプロセッサ	MTX5-D	1
	音声分配器	DA6	1
	ハイパワーアンプ	WA-HA061	2
	シームレススイッチャー	SL-104C	1
	FA-ML8TPoE+	PN230893B5	1
	HUB (24 ポート)	BS-GS2024	1
	LAN/接点変換コンバータ	SE10-8A7B1	1
	リモートコントロール用 PC		1
	無線ルーター	BT0176-01512	1
	タイムサーバー	TSV-5000H	1
	無停電電源装置 1000VA	BU100RWG5	1
	無停電電源装置 750VA	BU75RWG5	1
	電源制御ユニット	WU-LP067	2
	端子盤ユニット	特型	2
2	《操作卓》		
	21.5 型タッチディスプレイ	ET2202L-2UWA-0-BL-G	1
	デジタルレコーダー	SS-R250N	2
	デジタル入力レコーダー	DMR-T5000UR	1
	SDカード (32GB)		2
	USBメモリ (32GB)		2
	15.6 型ディスプレイ	LCD1560	1

	PoEHUB	PN230893B5	1
	カメラコントローラ	AW-RP60GJ	1
	小型 15W AC 電源	AC-M15	1
	無停電電源装置	SCL400RMJ1U	1
	電源制御ユニット	WU-LP067	1
	操作卓	特型	1
<b>3</b>	<b>《委員会室内機器》</b>		
	55 型液晶ディスプレイ	TH-55EQ2J	1
	FPD 壁面ハンガー	FHW-52	1
	HDMI 受信器	DCE-U1RX	1
	32 型液晶ディスプレイ	LCD-E328	1
	FPD 壁面ハンガー	FHW-43N	1
	HDMI 受信器	DCE-U1RX	1
	10.1 型液晶ディスプレイ	LCD1015	1
	HDMI 受信器	DCE-U1RX	1
	会議表示灯	特型	1
	マイクエレメント	AT4051b-EL	2
	専用プリアンプ	AT4900b-48	2
	ショックマウント	AT8410A	2
	取付金具		2
	ワイヤレスアンテナ	WX-SA250A	2
	ワイヤレスマイク ハンド	WX-ST200	4
	充電器	WX-SZ200	2
	充電池	BK-3MCD/4H	1
<b>4</b>	<b>《委員会室マイク関連》</b>		
	専用ロングマイク	ATUC-M59H	51
	専用標準マイク	ATUC-M44H	10
	会議マイクユニット	ATUC-50DUa	61
	速記者用音声機器	特製	1
<b>5</b>	<b>《委員会室 WEB 会議機器関連》</b>		
	SD/HD/3G-SDI to HDMI 変換器	SHC-D5	1
	映像分配器	DA-144	1
	AD コンバーター	ADV-01	1
	USB キャプチャー	4KX-PLUS	1



	デジタルミキサー	ATDM-0604 a	1
	電源制御器	WU-L61	1
	55 型液晶ディスプレイ	LCD-M4K552XDB2	1
	ディスプレイスタンド	PH-625B	1
	USB3.0 ケーブル (3m)	USB3-AB30BK/ID	1
	HDMI ケーブル (5m)	HDM05AE	1
	AV ワゴン本体	CS-11UW1-N06	1
	ラックマウント金具	MK-100	1
	ラックマウント金具	RM-44S	1
	ラックマウント棚	SRE44-315A	1